資料2

H30年度における
網走川ほか　の減災に関する取組
（フォローアップ）

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ハード対策	■危機管理型ハード対策	①　国管理区間 ・堤防天端の保護（岩富地区、本郷地区、美幌川左・右岸地区） ・堤防法尻の補強（美幌川左・右岸地区）	R2年度までに実施	網走開建		【天端保護】 美幌川左岸 本郷地区	【天端保護】 美幌川右岸 【法尻保護】 美幌川右岸	【天端保護】 美幌川右岸	【天端保護】 美幌川右岸、岩富地区 【法尻補強】 美幌川左岸
			②北海道管理区間 ・堤防天端の保護箇所の検討と実施	H29年度から実施	振興局		－	・堤防天端の保護箇所の検討	・堤防天端の保護箇所の検討	・今後、必要に応じて見直しを行っていく
		■避難情報等伝達機器の整備	①　要配慮者や観光客、集落分散地区の居住者にも確実に情報を伝えるため防災行政無線などの情報伝達機器の整備検討	H28年度から実施	網走市		・現在防災無線の改良のための調査	・同報系情報伝達機器の導入の調査・検討	・Jアラート新型受信機整備 ・コミュニティFMを活用した情報連携の調査、整備検討（情報伝達手段の多重化）	・コミュニティFMを活用した緊急情報伝達システムの構築 ・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達
					大空町		・現在防災無線の改良のための調査	・防災無線の更新・改良など機器の整備検討	・Jアラート新型受信機整備（平成30年度） ・情報伝達手段の多重化として「メール配信」、「消防屋外スピーカー」による運用 メール配信は平成26年度から 消防デジタル無線（屋外拡声器）は 平成25年度から	・防災無線更新・改良等の検討 ・情報伝達手段の多重化として「メール配信」、「消防屋外スピーカー」による運用
					美幌町		・全世帯にLEDライト付ラジオを計画的に配布	・LEDﾗｲﾄ付ﾗｼﾞｵ全戸配布完了 ・防災無線更新の調査・検討	・防災無線更新整備検討 ・新規転入者への防災ｸﾞｯｽﾞ配布	・防災無線更新整備予定 ・新規転入者への防災ｸﾞｯｽﾞ配布
					津別町		・現在防災無線の改良のための調査	・現在防災無線の改良のための調査	・防災無線の改良のための調査	・防災無線の改良（デジタル化）のための調査・検討
			②停電時や夜間において確実に避難情報を伝えるための情報伝達方法の検討	H29年度から実施	網走市		－	・具体的な方法の検討に未着手（情報の受け手側の環境や状態を考慮が必要など、様々な課題が考えられ整理が必要）	・コミュニティFMを活用した「自動起動防災ラジオ」による情報伝達を検討	・コミュニティFMを活用した緊急情報伝達システムの構築 ・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達
					大空町		－	・具体的な方法の検討に未着手（タイムラインを活用して情報伝達方法を想定する。業務継続計画とも関連すると考えるが計画未策定のため具体的な検討中が不十分）	・停電時や夜間において避難情報を伝えるための具体的な方法はメール配信のみのため、多様な情報伝達を検討	・引き続き、停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討 ・業務継続のための取組として、役場庁舎の非常用電源確保
					美幌町		－	・停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討	・引き続き、停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討 ・非常用電源の充実を図る必要性など、引き続き、情報伝達方法について調査研究を進めた	・引き続き、停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討 ・非常用電源の整備を図るとともに、引き続き、情報伝達方法について調査研究を進める
					津別町		－	・停電時や夜間における避難情報を伝えるための検討	・停電時や夜間における避難情報を伝えるための方法を検討	・停電時や夜間における避難情報を伝えるための方法を検討 ・非常用電源の充実

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	①　想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図（浸水ナビ）の公表	H28年度	網走開建	完						・平成28年11月30日　告示公表済み ・浸水ナビはH29年3月を目途に整備中	・HPや出前講座等で広報活動を行った ・浸水ナビは、H30年３月に公表済み	－	－
				H29年度から実施	振興局							－	・水位周知河川について公表 魚無川（H30.3.6指定 第2964号） ・その他の支川も簡易的な手法を用いて実施	・その他の支川も簡易的な手法による調査が必要か検討	－
			②　想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づき、浸水深や長期浸水時間を考慮した避難場所や避難経路の見直し、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップの整備検討	H28年度から実施	網走開建							・市町のハザードマップ作成のための支援を実施（美幌町、網走市）	・関係市町について支援を実施	・関係市町について支援を実施	・必要に応じ、関係市町について支援等を実施していく
				H29年度から実施	気象台							－	・必要に応じて支援など行った	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・必要に応じて支援など行う
					振興局							－	・町のハザードマップ作成のための資料を作成	・浸水想定区域図のデータを提供 ・支援の要請はなかった	・必要に応じ、支援を実施していく　（補助事業の紹介等）
				H28年度から実施	網走市							・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・部分改訂版防災ガイドブックの転入者等への追加配布及びホームページ掲載 ・防災ガイドブックの全面改訂・全戸配布（R3まで）
					大空町							・既存の生活安心ガイドブックの全戸配布 ・防災のしおり、防災ハザードマップの作成及び町内全戸に配布	・「せいかつあんしんガイドブック」毎年作成全戸配布	・「せいかつあんしんガイドブック」全戸配布（毎年度実施） ・「大空町防災マップ」作成、全戸配布（H30年3月末） ・大空町防災マップ（地図・手引）は想定最大規模及び計画規模の洪水浸水想定区域を表示している	・「せいかつあんしんガイドブック」毎年作成全戸配布 ・「大空町防災マップ」転入世帯へ配付 ・防災マップは5年程度で見直し（2023年頃）
					美幌町							・新たに防災情報を盛り込んだ「暮らしと防災ガイドブック2017」を作成 （上記ガイドブックに洪水浸水想定区域に基づくハザードマップを中綴じ）	・H29.4月防災ガイドブック全戸配付済	・転入者に防災ガイドブックの配布 ・防災WEBマップの作成	・道管理河川における浸水想定区域公表による、水害ハザードマップの見直し検討 ・転入者に防災ガイドブックの配布 ・防災WEBマップの見直し
					津別町							・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・洪水浸水想定区域に基づく水害ハザードマップの見直し（30年度作成に向けた諸準備）	・洪水浸水想定区域に基づく水害ハザードマップの作成 ・民家に接する国直轄、北海道管理、津別町管理の河川に係るハザードマップを作成。 ・ハザードマップ町内全戸配布	・ハザードマップ説明等自治会への出前講座
			③　土地勘のない観光施設利用者が確実に避難場所までたどり着けるための避難誘導手法の検討	H29年度から実施	網走市							－	・具体的な検討に未着手（ハザードマップ見直し後、検討を行った）	・住民や観光客がスマートフォン等を利用し避難情報の取得等ができるよう、道の駅駐車場等にWi-FI環境を整備	・コミュニティFMの活用による旅行者等への緊急情報伝達手法の検討・実施 ・避難対象地区及びその付近の観光施設、宿泊施設等へのハザードマップ配布、避難誘導体制構築に向けた観光関係団体等との連携模索
					大空町							－	－	・避難誘導手法の検討を行った（H30年度「大空町防災マップ」作成。マップを活用し継続して検討）	・避難誘導手法の検討を行う（ハザードマップ見直し後継続して検討を行う）

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	④　円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築	H28年度から実施	網走開建		・流域関係機関に冠水する恐れのある道路等のリスト聞き取り調査を実施中（2月～3月）	・流域関係機関で共有できる資料の整理を行う（関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った） ・必要に応じて見直しを行った	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
				振興局		・聞き取り調査に協力	・関係機関と連携し、資料整理を図った	・関係機関と連携し、見直しを行った	・関係機関と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
			H29年度から実施	自衛隊		－	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
				北海道警察		－	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
			R1年度から実施	網走警察署		－	－	－	・共有を図る
				美幌警察署		－	－	－	・通行止め情報等の共有を図る
			H28年度から実施	網走市		・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部が行った資料整理に協力、情報を共有を図った	・網走開発建設部が行う資料整理に協力、情報共有を図った	・網走開発建設部が行う資料の見直しに協力していく
				大空町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用した	・資料整理への協力を行った ・情報共有を図るため、減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用した	・資料整理への協力と共有を図る ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用する
				美幌町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き、資料整理への協力と共有を図る
				津別町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・ハザードマップに網羅・明示により、情報の共有化を図った	・共有を図る
				網走消防組合		・構成市町（網走市・大空町）と共有を図る ・H28出水では、住民が河川の水害リスクを理解し的確な避難行動を取るため「.適切な避難場所の確保」と「.避難勧告等の発令」（市町体制補完）を行った。また、.河川情報等の適時的確な提供を行った	・引き続き継続実施した	・引き続き継続実施した	今後においても、関係機関との連絡体制網を築き情報の共有等に努める
				美幌津別広域組合		・構成市町（美幌町・津別町）と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き美幌町配布の「防災ガイドブック」等を活用し、情報共有を図った	・引き続き共有を図る

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	①　住民や観光客の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	H30年度までに実施	網走開建							・スマートフォンによるリアルタイム情報提供を実施	・H30年5月までにプッシュ型情報配信を実施	・H30年5月にプッシュ型情報配信を実施（4水系10市町村に拡大）	・プッシュ型配信による情報について、住民がより理解しやすい内容となるように緊急速報メール配信文を更新 ・HPや出前講座等で広報活動を行う
			②　メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク（自主防災組織等）の構築	引き続き実施	網走市							・自主防災組織の結成促進 ・メール配信サービスの利用促進(登録制) ・既存防災ガイドブックの転入者等への追加配布	・HUG研修会等を活用し、自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った	・自主防災組織の結成促進 ・メール配信サービスの利用促進 ・地域防災訓練や防災研修会等の実施による避難所運営体制の構築 ・コミュニティFMを活用した情報連携の調査、整備検討（情報伝達手段の多重化）	・コミュニティFMを活用した緊急情報伝達システムの構築・運用 ・高齢者世帯等への「緊急告知防災ラジオ」貸与による緊急情報の伝達 ・自主防災組織の結成促進 ・メール配信サービスの利用促進 ・地域防災訓練や防災研修会等の実施による避難所運営体制の構築
					大空町							・自主防災組織結成促進（パンフレット作成） ・避難行動要支援者名簿の作成 ・生活安心ガイドブックの全戸配布 ・メール配信サービスの利用促進(登録制)	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・ハザードマップの見直しに伴う新しい防災ガイドブックの作成・配布（大空町防災マップ・手引き　H29作成、H30配布予定）	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・「大空町防災マップ」全戸配布（H30年3月末） ・大空町防災マップ（地図・手引）は想定最大規模及び計画規模の洪水浸水想定区域を表示した ・防災リーダー育成を支援のための方策検討（自主防災組織活動補助金交付要綱の見直し検討など）	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービス（登録制）の利用促進を図る ・防災リーダー育成を支援のための方策検討（自主防災組織活動補助金交付要綱の見直し検討など）
					美幌町							・自主防災組織結成促進 ・メール配信サービスの利用促進(登録制) ・防災ガイドブックの更新	・自主防災組織の結成促進 ・メール配信サービスのリニューアル（各種情報システムの統合）を実施 ・防災ガイドブック（2017）の全戸配付済 ・防災リーダー、防災マスターの養成、町は防災士の養成を図り、日頃から地域との連携を図る	・自主防災組織の結成促進 ・防災リーダー、防災マスター、防災士の養成研修会の開催 ・転入者に防災ガイドブックの配布 ・メール配信サービスを始め、ホームページ、Facebookにより情報配信	・引き続き自主防災組織の結成促進 ・防災リーダー、防災マスター、防災士の養成 ・転入者に防災ガイドブックの配布 ・メール配信サービスの利用促進とともに、ホームページ、Facebookにより情報配信
					津別町							・自主防災組織の結成促進 ・避難行動要支援者名簿の作成 ・メール配信サービスの利用促進を図る(登録制)	・引き続き自主防災組織の結成促進を図った	・引き続き自主防災組織の結成促進を図った ・自主防災組織運営マニュアルの見直し	・引き続き自主防災組織の結成促進を図る
			③　わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」・「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善	H28年度	網走開建		完					・洪水予報伝文の改良済み ・「避難勧告等の判断・伝承マニュアル作成ガイドライン」（平成27年8月）を平成29年1月に改定	－	－	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良
				H29年度までに実施	気象台			完				・洪水予報文の改良済み ・新たなステージに対応した防災気象情報の改善について、H29出水期前の運用開始に向け作業中	・H29出水期前に新たなステージに対応した防災気象情報の改善の運用開始	－	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	④ 避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市町職員向けマニュアルの作成や想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づく地域防災計画の見直し	H28年度から実施	網走市		・地域防災計画の見直しにむけて準備作業を行った	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル策定に向けた諸準備	・避難所運営マニュアルの策定	・コミュニティFMとの連携による緊急割込放送に係る運用基準・マニュアル等の作成 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルや地域防災計画の見直し
					大空町		・地域防災計画の見直し済（H27年度末）	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）作成していく ・地域防災計画の見直し（H29年9月改訂）	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）作成検討 ・地域防災計画の見直し（H29年9月改訂）	・職員マニュアルの見直し ・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）等の作成検討 ・地域防災計画の見直し検討
					美幌町		・H28年度中に地域防災計画の見直しを行った ・職員初動体制マニュアル（地震編・水害編）や避難所開設マニュアル（水害編）を策定済	・職員災害時初動対応カード（地震・水害）を作成し、H29.4月に全正職員（消防・病院医療は除く）に配付済	・地域防災計画の見直し ・災害時初動対応カードを新規採用職員に配布	・避難所運営マニュアルの見直し ・地域防災計画の見直し予定 ・災害時初動対応カードを新規採用職員に配布
					津別町		・地域防災計画の見直しを行った	・水防計画の見直しに向けた諸準備	・地域防災計画及び水防計画を見直し、計画に基づくマニュアルを作成	・地域防災計画及び水防計画の適宜更新
			⑤ 訓練や実運用結果を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関連携したタイムラインの作成（要配慮者や観光客、災害状況に応じた対応を考慮）	H29年度から実施	網走開建		－	・H29に出水期前にタイムラインに関する意見交換会を開催し精度向上を図った	・各市町がタイムラインを作成する際の参考となるように、他河川で実施しているタイムライン検討会の傍聴を幅広に案内した	・各市町がタイムラインを作成する際の参考となるように、常呂川タイムライン試行版の情報提供を行う ・活用可能な構成市町の訓練に参加し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
					気象台		－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参画	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
					振興局		－	・意見交換会に参加	・水位周知河川について、構成する町と協議し、避難勧告着目型タイムラインを作成 ・他河川タイムライン検討会に参加	・構成する町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムラインの見直しを行っていく
					自衛隊		－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
					北海道警察		－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムラインの見直しを行っていく
				R1年度から実施	網走警察署		－	－	－	・意見交換会に参加する
					美幌警察署		－	－	－	・意見交換会や検討会に参加する ・関係機関との訓練を通じ、タイムラインの見直しを行っていく
				H29年度から実施	網走市		－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴 ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	⑤ 訓練や実運用結果を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関連携したタイムラインの作成（要配慮者や観光客、災害状況に応じた対応を考慮）	H29年度から実施	大空町							－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴	・意見交換会に参加し、情報収集に努める ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく ・前段小項目④のうち職員マニュアル見直しのなかで検討
				美幌町							－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
				津別町							－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
			H29年度から実施	網走消防組合							－	・意見交換会に参加	・継続実施 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴（多機関連携型タイムラインの研究等）	・引き続き継続実施する ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴（多機関連携型タイムラインの研究等）
				美幌津別広域組合							－	・意見交換会に参加	・継続実施	・引き続き継続実施
		⑥ 洪水時の各機関の情報伝達状況や水防活動状況を共有できる体制の構築	H29年度から実施	網走開建							－	・水防連絡協議会を4月に開催し、周知徹底を図った	・水防連絡協議会を4月に開催し、周知徹底を図った	・引き続き継続実施
				気象台							－	・水防連絡協議会に参加し、情報を共有した	・水防連絡協議会に参加し、情報を共有した	・引き続き継続実施
				振興局							－	・水防連絡協議会を4月に開催し、周知徹底を図った	・継続実施	・引き続き継続実施
				自衛隊							－	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有
				北海道警察							－	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有する
			R1年度から実施	網走警察署							－	－	－	・水防連絡協議会で情報共有する

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	⑥　洪水時の各機関の情報伝達状況や水防活動状況を共有できる体制の構築	R1年度から実施	美幌警察署		－	－	－	・自治体に職員を派遣させて情報共有を図る ・自治体防災担当者の連絡先を把握して情報伝達を実施
				H29年度から実施	網走市		－	・水防連絡協議会に参加、情報を共有した	・水防連絡協議会に参加、情報を共有した	・水防連絡協議会に参加、情報を共有する
					大空町		－	・水防連絡協議会で情報共有 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・水防連絡協議会で情報共有 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・水防連絡協議会で情報共有 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る
					美幌町		－	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有	・引き続き、水防連絡協議会で情報共有する
					津別町		－	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有
					網走消防組合		－	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有
					美幌津別広域組合		－	・水防連絡協議会で情報共有	・水防連絡協議会で情報共有 ・水防連絡協議会に出席し、連絡窓口等の情報共有を図った（継続）	・引き続き継続実施
		■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	①　住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、及び網走川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	引き続き実施	網走開建		・各自治体等主催の訓練等に参加（美幌町、大空町の訓練に参加） ・今夏出水についてHPで広報	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供した	・引き続き訓練に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供 ・北見工業大学　地域と歩む防災研究センターと連携協定を結び、地域の防災力向上を図る
					気象台		・各自治体等主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加
					振興局		・各自治体等主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関の講習会や防災学習等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加
					自衛隊		・各自治体等主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・引き続き、関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	① 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、及び網走川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	引き続き実施	北海道警察		・各自治体等主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加する
				R1年度から実施	網走警察署		－	－	－	・関係機関主催の訓練、講習会や防災学習等に参加する ・あらゆる機会を通じて、水災害に対する広報活動を実施する
					美幌警察署		－	－	－	・関係機関の訓練等に参加する ・小学生への簡単な災害図上訓練を実施する ・民間企業が主催の避難訓練に参加する ・ミニ広報誌や各種広報活動を通じて防災意識を啓発する
				引き続き実施	網走市		・住民参加の防災避難訓練（土砂災害）の実施 ・学校・幼稚園・保育園における避難訓練（津波）の実施	・町内会役員、民生委員等を対象にHUG研修会を市内8会場で実施 ・自治会（二見ヶ岡地区）による避難訓練（地震津波）への開催協力 ・気象台協力による学校、NPO、自治会等対象の防災学習会を開催	・町内会役員等を対象に地域防災訓練（HUG研修会）を実施 ・小学校での「一日防災学校」の実施（北海道ほか防災関係機関との連携事業） ・自主防災組織等が行う防災訓練・研修開催への協力	・地域主導で行われる防災訓練（避難訓練・避難所開設訓練等）への協力・地域との連携推進 ・小学校で実施される防災教育（避難所生活体験）への協力 ・「網走防災まちづくり商店街（気象台主催）」開催への協力 ・地域防災訓練の実施による避難誘導・避難者受入体制の構築
					大空町		・水防合同訓練の実施 水防工法(釜段工法、月の輪工法、積土嚢工法) ・大空町防災訓練(災害対策室設置 ・情報伝達・避難　訓練・防災講演・炊き出し体験など)	・H29防災訓練は実際に気象警報発表のため中止した	・防災訓練実施（毎年度実施） （災害対策室設置・情報伝達・避難訓練・防災講演・炊き出し体験など） 女満別地区（平成30年9月） ・HUGの実施（オホーツク総合振興局の協力により実施） 職員対象（平成30年8月） 町民対象（平成31年2月） ・出前講座の実施 実施1回（平成31年3月）	・大空町防災訓練を今後も引き続き実施 ・住民参加による水災害に関する防災訓練の検討（避難訓練や図上訓練等） ・HUGの実施、出前講座の実施
					美幌町		・水害を対象とした防災避難訓練の実施（美芳地区） ・自治会を対象に出前講座を実施 ・自治会役員、防災マスター等を対象にHUG北海道版を実施 ・学生・防災マスターを対象とした防災キャンプをH29.3に実施 （冬期間の避難生活 1泊体験） ・避難所開設訓練や防災避難訓練を実施	・出前講座の開催 ・図上訓練の実施 ・水害を想定した避難所開設訓練の実施	・出前講座の開催 ・図上訓練の実施 ・水害を想定した避難所開設訓練の実施 ・一日防災学校の実施 （北海道と連携事業） ・町主催の「総合防災訓練」開催に向けた関係機関との協議	・今後も引き続き実施 ・出前講座の開催 ・図上訓練の実施 ・水害を想定した避難所開設訓練の実施 ・「一日防災学校」実施 （北海道と連携事業） ・町主催の「総合防災訓練」開催予定
					津別町		・自治会を対象に防災出前講座の実施	・自治会を対象とした防災出前講座を開催（3地区）	・自治会や団体を対象とした防災出前講座を開催（3箇所）	・今後も引き続き実施 ・住民参加による水災害に関する防災訓練（避難訓練や図上訓練等）、水災害に関する講習会等の実施に向けた関係機関との調整する
					網走消防組合		・各自治体等主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加 ・網走市等主催の「一日防災学校」へ参加	・海岸町町内会・向陽ヶ丘連合町内会地区防災訓練への参加 ・引き続き関係機関主催の訓練等に参加する。また、講習会や防災学習等に参加する

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	① 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、及び網走川流域の水害特性を踏まえた広報活動を実施する	引き続き実施	美幌津別広域組合		・各自治体等主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画 ・自治会防災訓練指導（出前講座）～13自治会 ・美幌町防災リーダー養成研修会（再講習）を消防本部で開催 ・一日防災学校（旭小学校）協力～救急講習、消防車両展示	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加
			② 要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成	H29年度から実施	振興局		－	・要配慮者施設情報の基礎資料整理	・要配慮者施設情報の基礎資料の提供 ・引き続き支援を実施	・必要に応じ、引き続き支援を実施していく予定
				H30年度から実施	網走市		－	－	・浸水想定区域内における要配慮者施設の把握	・避難確保計画の作成状況の確認と必要に応じて作成支援
					大空町		－	－	・施設所管課、運営委託先と協議	・施設所管課、運営委託先と協議（避難確保計画作成）
					美幌町		－	－	・町福祉部局より作成を促した	・引き続き町福祉部局より作成を促す
					津別町		－	－	・水害（浸水）想定区域内に被害を受け得る施設がない	・水害（浸水）想定区域内に被害を受け得る施設がない
			③ 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施	R1年度から実施	網走市		－	－	－	・要配慮者施設の避難確保計画に基づく避難訓練を実施する場合には、必要に応じて支援を行う
					大空町		－	－	－	・施設所管課、運営委託先と協議（避難確保計画作成、訓練実施方法検討）
					美幌町		－	－	－	・要請に基づき訓練の支援を行う
					津別町		－	－	－	・水害（浸水）想定区域内に被害を受け得る施設がない
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ハード対策	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	① 国管理区間 ・河道掘削 （本郷地区、美幌右岸地区） ・浸透対策 （美幌左岸地区）	R2年度までに実施	網走開建		【浸透対策】 美幌左岸	・検討に時間を要した	【河道掘削】 本郷地区	【河道掘削】 本郷地区、美幌地区
			② 北海道管理区間 ・河道掘削 （網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川） ・浸透対策 （女満別川） ・適切な河道の維持管理（河道掘削、伐木等）	H28年度から実施	振興局		【堤防質的整備】 女満別川 【河道掘削】 サラカオーマキキン川	【堤防質的整備】 女満別川 【河道掘削】 駒生川、サラカオーマキキン川 【伐木等】 女満別川、木禽川、美幌川、トマップ川	・改修中の河川について掘削や堤防整備等を実施 【堤防質的整備】 女満別川 【河道掘削】 網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川 ・伐木等による河道の適切な維持管理を実施	・引き続き改修中の河川について掘削や堤防整備等を実施 【堤防質的整備】 女満別川 【河道掘削】 網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川 ・伐木等による河道の適切な維持管理を実施

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ハード対策	■監視体制の強化	①　網走川のほか中小河川など、上流部の河岸侵食危険箇所や湖周辺の観光地等、水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、CCTVカメラや簡易水位計等機器の調査検討・整備を行う	H28年度から実施	網走開建		・水害リスクの高い箇所に水位計を設置（KP20.2左岸（治水橋）） ・水位計設置箇所の検討と簡易水位計の購入	・引き続き、計画的に水害リスクの高い箇所に水位計を設置 ・簡易水位計の資料収集（視察） ・危機管理システムの勉強会を実施 ・補完水位観測所における水位予測の明確化について検討を行った	・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置	・必要に応じて、水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置 ・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置予定
				H29年度から実施	振興局		－	・水害リスクの高い箇所に、水位計設置の検討を行った	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計を設置	・引き続き、水害リスクの高い箇所に、計画的に危機管理型水位計を設置予定 ・水害リスクの高い箇所に、計画的に監視カメラを設置予定
		■水防活動の資機材整備	①　資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備	H28年度から実施	網走開建		・現況の水防備蓄量の確認を実施 ・新技術の資材等調べ	・水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を行った （大空地区河川防災ステーション）	・大空地区河川ステーションの事業着手	・大空地区河川ステーションの事業継続
				H29年度から実施	振興局		－	・防災資材の備蓄を実施	・防災資材の備蓄を実施	・引き続き、計画的に整備予定
				H28年度から実施	自衛隊		・防災装備品を計画的に整備	・29年度末に救助ボート増加配備	・防災装備品を上級部隊に要望	・引き続き、計画的に整備予定
					網走市		・防災備蓄品を計画的に整備	・防災備蓄品を計画的に整備	・防災備蓄品を計画的に整備	・必要に応じて水防資機材の資機材導入を検討（随時） ・防災備蓄品を計画的に整備予定
					大空町		・大空町自主防災組織活動補助金交付要綱を制定(防災敷材整備、自主防災組織活動支援)	・引き続き、防災資機材整備、自主防災組織活動支援をした	・引き続き、防災資機材整備、自主防災組織活動支援をした（H30年度１組織に防災資機材整備支援）	・引き続き、防災資機材整備、自主防災組織活動支援していく
					美幌町		・水害用備蓄品の整備 （ボート、救命胴衣など） ・各指定避難所へ資機材等保管用倉庫及び必要備蓄品の常設設置（計画的に実施） ・備蓄品の分散備蓄を実施 （高台施設への備蓄品移動） ・美幌町自主防災資機材等購入補助金交付要綱を制定(防災資機材・倉庫整備支援)	・各避難所へ倉庫及び備蓄品の常設設置を計画的に整備 ・福祉避難所へ備蓄品の常設設置を実施（簡易ベッドのほかストレッチャーや歩行器などの福祉用具を備蓄） ・自主防災組織資機材購入補助（1件）	・各避難所へ倉庫及び備蓄品の常設設置を計画的に整備 ・福祉避難所へ備蓄品の常設設置を実施（簡易ベッドのほかストレッチャーや歩行器などの福祉用具を備蓄） ・自主防災組織資機材購入補助（1件）	・備蓄計画に基づき各避難所へ倉庫及び備蓄品の常設設置を計画的に整備 ・福祉避難所へ備蓄品の常設設置を実施 ・自主防災組織資機材購入補助（1件予定）
					津別町		・防災備蓄品を計画的に整備	・計画的に災害用備品の充実を図った	・計画的に災害用備品の充実を図った	・計画的に災害用備品の充実を図る
					網走消防組合		・防災備蓄庫及び消防分団詰所に資機材を配置した	・計画的に施設及び資機材を備蓄・配置した	・計画的に施設及び資機材を備蓄・配置した	今後も計画的に施設及び資機材を備蓄、配置する

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ハード対策	■水防活動の資機材整備	①　資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備	H28年度から実施	美幌津別広域組合		・個人装備を含めた現有資機材の点検整備	・現有資機材の点検整備を引き続き実施し、必要に応じ水防資機材の充実を図った	・現有資機材の点検整備を引き続き実施し、水防資機材の充実を図った ・水害に備えて土のうを作成し、分団詰所に備蓄した （津別町・津別消防署・津別消防団合同で実施） ・安全装備品の拡充 （救命胴衣10着購入し、各分団に追加配備）	・現有資機材の点検整備を引き続き実施し、必要に応じ水防資機材の充実を図る
	ソフト対策	■水防活動に必要な情報の共有	①　迅速な水防活動のため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資機材の状態点検を行う	H28年度から実施	網走開建		・保有状況確認と状態点検を実施 ・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施中（2月～3月）	・出水来前までに関係機関の保有状況をとりまとめ整理し、情報共有を行う（関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った）。今後、必要に応じて見直しを行っていく	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
					振興局		・聞き取り調査に協力	・関係機関と連携し、資料とりまとめを行った	・関係機関と連携し、見直しを行った	・関係機関と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
					自衛隊		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き、資料整理への協力と共有を図る
					網走市		・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部が行った保有状況整理に協力、情報共有を図った	・網走開発建設部が行う保有状況整理に協力した ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・引き続き協力と共有を図る
					大空町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る
					美幌町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き協力と共有を図る
					津別町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
					網走消防組合		・聞き取り調査に協力 ・資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・共有を図った ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・共有を図った ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・今後も共有を図る ・引き続き資機材等の保有状況の確認、情報共有及び点検を実施する
					美幌津別広域組合		・聞き取り調査に協力 ・資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・資料整理への協力と共有を図った ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用し情報共有を図った ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・共有を図る ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施
			②　想定最大規模の洪水時でも利用可能な水防資機材搬送ルートの設定	H29年度から実施	網走開建		－	・想定最大規模や計画規模における資機材搬入ルート等の検討を行った	・想定最大規模や計画規模における資機材搬入ルート等の検討	・想定最大規模や計画規模における資機材搬入ルート等の検討を行う
					振興局		－	・資機材搬入ルート等の協議に参加	・資機材搬入ルート等の協議に参加	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の検討、設定協議に参加
					自衛隊		－	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加	・引き続き、想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策	■水防活動に必要な情報の共有	② 想定最大規模の洪水時でも利用可能な水防資機材搬送ルートの設定	H29年度から実施	網走市							－	・具体的な検討に未着手（減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用し、今後設定を検討）	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の検討、設定協議に参加	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の検討、設定協議に参加
					大空町							－	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る
					美幌町							－	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加（岩富地区天端保護関係等）	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加 ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る
					津別町							－	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加（岩富地区天端保護関係等）	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加	・想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の設定協議に参加
					網走消防組合							－	－	・設定協議に参加 ・情報の共有	・必要に応じ設定協議に参加 ・情報の共有
					美幌津別広域組合							－	－	・設定協議に参加 ・情報の共有を行うため、減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用した	・必要に応じ設定協議に参加 ・情報の共有
			③ 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する	引き続き実施	網走開建							・関係機関と一体となって共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを行った	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを行った	・関係機関と共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを行った	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定 ・引き続き、重要水防箇所の見直しを行う
				H29年度から実施	振興局							－	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加	・道管理河川の共同点検に向けて、実施方針について検討 ・重要水防区間の見直しを行った	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加 ・道管理河川の共同点検を実施予定 ・重要水防区間の見直しを行う
					自衛隊							－	・共有を図った	・共有を図った	・引き続き、共有を図る
				引き続き実施	網走市							・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施予定
					大空町							・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施
					美幌町							・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・引き続き、関係機関と共同点検を実施予定

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策	■水防活動に必要な情報の共有	③　毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する	引き続き実施	津別町							・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定
					網走消防組合							・水防連絡協議会において重要水防箇所の情報を把握 ・共同点検は未実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・今後も関係機関等と共同点検を実施予定
					美幌津別広域組合							・水防連絡協議会において重要水防箇所の情報を把握 ・共同点検は未実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・今後も関係機関等と共同点検を実施予定
		■水防活動体制の強化	①　関係機関が連携し、河岸侵食や漏水を想定した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施	引き続き実施	網走開建							・各自治体等主催の訓練等に参加 （大空町の訓練に参加）	・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加
					気象台							・各自治体等主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加
					振興局							・各自治体等主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加予定
					自衛隊							・各自治体等主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き、関係機関主催の訓練等に参加
					北海道警察							・各自治体等主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加する
				R1年度から実施	網走警察署							－	－	－	・関係機関主催の訓練等に参加する
					美幌警察署							－	－	－	・関係機関の訓練等に参加する
				引き続き実施	網走市							・具体的な取組無し	・河川事務所主催水防技術講習会に参加	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行う ・関係機関主催の訓練等に参加
					大空町							・水防合同訓練の実施 水防工法(釜段工法、月の輪工法、積土嚢工法) ・大空町防災訓練 (災害対策室設置 ・情報伝達・避難　訓練・防災講演・炊き出し体験など)	・大空町防災訓練を今後も引き続き実施	・大空町防災訓練を今後も引き続き実施	・大空町防災訓練を今後も引き続き実施 ・住民参加による水災害に関する防災訓練の検討（避難訓練や図上訓練等）

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策	■水防活動体制の強化	①　関係機関が連携し、河岸侵食や漏水を想定した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施	引き続き実施	美幌町		－	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行う
					津別町		－	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った	・近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行う
					網走消防組合		・各自治体等主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	・今後も関係機関主催の訓練等に参加する
					美幌津別広域組合		・各自治体等主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加 ・北見河川事務所主催の水防技術講習会に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加
			②　リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行うとともに、水防協力団体の募集・指定を促進する	H28年度から実施	網走開建		・リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行った ・減災協議会で水防協力団体の説明を実施	・継続実施	・継続実施	・引き続き継続実施
					振興局		・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ水防活動の担い手となる水防団員の募集を行った	・継続実施	・継続実施	・引き続き継続実施
				H29年度から実施	網走市		－	・市広報紙を通じて任用資格拡充を周知、加入促進を図った	・関係機関と連携し促進を図った	・今後も関係機関と連携し促進を図る
					大空町		－	・関係機関と連携し促進を図った	・関係機関と連携し促進を図った	今後も関係機関と連携し促進
					美幌町		－	・関係機関と連携し促進を図った	・関係機関と連携し促進を図った	・引き続き、関係機関と連携し促進を図る
					津別町		－	・関係機関と連携し促進を図った	・関係機関と連携し促進を図った	今後も関係機関と連携し促進を図る
				H28年度から実施	網走消防組合		・水防団員（消防団員）、水防協力団体の募集・指定の促進を図った	・引き続き募集活動を実施 消防団条例を改正し、広く人員を確保した	・引き続き募集活動を実施	今後も募集活動を実施する
					美幌津別広域組合		・組合ホームページ・町広報誌・ポスターの掲示等により水防活動の担い手となる消防団員の募集活動を実施	・引き続き募集活動を実施	・引き続き募集活動を実施 ・組合HP掲載、構成町の広報誌掲載、ポスター掲示、リーフレットを配布し加入促進を図った	・引き続き募集活動を実施

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策	■排水活動の資機材整備	①　排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討	H28年度から実施	網走開建							・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施中（2月～3月）	・流域関係機関で共有できる資料の整理を行う（関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った） ・必要に応じて見直しを行った	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
					自衛隊							・聞き取り調査に協力	・共有を図った	・共有を図った	・引き続き、共有を図る
					網走市							・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部が行った保有状況整理に協力、情報共有を図った ・釜場（呼人2箇所、山里1箇所）に常設電源、ポンプを設置した	・内水被害常襲地区への排水ポンプ及び電源の整備検討	・網走開発建設部が行う見直しに協力していく ・内水被害常襲地区への排水ポンプ及び電源の整備検討、必要に応じて整備を図る
					大空町							・聞き取り調査に協力	・共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る ・H29ポンプ購入（可搬エンジンポンプ2（4インチ）、水中ポンプ1（4インチ））	・共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・共有を図る ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る
					美幌町							・直轄樋門釜場に需用電源の常設整備 ・各樋門にポンプ増設（全6台）	・釜場（日の出）に電源の常設設置 ・ポンプ10台購入	・各樋門に計8台の発電機を設置 ・ポンプ6台購入 ・旧瑞治樋門に電源の常設設置	・水中ポンプを配置予定
					津別町							・災害用資機材の充実	・資機材整備の検討を行った	・資機材整備の検討を行った	・必要に応じて整備を図る
					網走消防組合							・必要な資機材の検討・整備	・資機材整備の検討を行った	・資機材整備の検討を行った	・今後、必要に応じて見直しを行っていく
					美幌津別広域組合							－	・資機材の整備なし	・資機材の整備なし	・必要に応じて整備を図る
			②　排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	網走開建							－	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討
					振興局							・排水方法の検討	・排水方法の検討	・内水氾濫実績の整理	・引き続き、道区間における浸水等氾濫実績を把握し、必要な排水活動のための検討を行う
	ソフト対策	■排水活動の体制強化	①　各機関での排水資機材整備状況の情報共有、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定、排水機場の操作要領見直し検討を行い、流域全体での排水計画の作成	H29年度から実施	網走開建							・流域関係機関が保有する排水資機材の聞き取り調査を実施中	・水害時における浸水の影響を軽減し社会経済活動の早期再開に資するべく、効率的かつ効果的な排水計画策定のための検討を実施し、策定した	・排水計画策定のための検討を実施	・排水計画策定のための検討を実施し、策定する
					振興局							・聞き取り調査に協力	・関係機関と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図る

網走川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 H29 H30 H31 R1 R2 R3	H28年の取り組み状況	H29年の取り組み状況	H30年の取り組み状況	R1年以降の取り組み内容
効率的・効果的な排水活動のための取組	ソフト対策	■排水活動の体制強化	①　各機関での排水資機材整備状況の情報共有、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定、排水機場の操作要領見直し検討を行い、流域全体での排水計画の作成	H29年度から実施	網走市		・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部が行った資機材整備状況整理に協力、情報共有を図った	・網走開発建設部が行う資機材整備状況整理に協力した ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・引き続き資料整理への協力と共有を図る ・流域全体での排水計画の作成に参加
					大空町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る ・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る
					美幌町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・引き続き、資料整理への協力と共有を図る
					津別町		・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
			②　排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	引き続き実施	網走開建		・計画的に継続実施 H28:北見地区、美幌地区、湧別地区で実施（10回開催）	・計画的に継続実施 今後は流域関係機関へも声かけを実施	・計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施	・引き続き計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施
				H29年度から実施	振興局		－	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加（他河川）	・ポンプ排水訓練に参加
					網走市		－	－	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
					大空町		－	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
					美幌町		－	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加予定
				H29年度から実施	津別町		－	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
				引き続き実施	網走消防組合		・ポンプ排水訓練に参加 ・当組合所有資機材の取り扱い訓練を定期的に実施	所有資機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加した	所有資機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加した	所有資機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加する
					美幌津別広域組合		・共同訓練なし ・当組合所有資機材の取り扱い訓練を定期的に実施	・ポンプ排水訓練に参加	・所有資機材の点検、取扱訓練を実施	・所有資機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加する

資料2-2

Ｈ30年度における
網走川ほか 減災に関する取組状況
（フォローアップ）

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

①ハード対策
■危機管理型ハード対策

課題対応：A

①国管理区間【令和2年度までに実施：網走開建】
- 堤防天端の保護（岩富地区、本郷地区、美幌川左・右岸地区）
- 堤防法尻の補強（美幌川左・右岸地区）

②北海道管理区間【平成29年度から実施：振興局】
- 堤防天端の保護箇所の検討と実施

①【令和2年度までに実施：網走開建】

堤防天端の保護（美幌川右岸）

堤防法尻補強（美幌川右岸）※平成29年度施工

②【平成29年度から実施：振興局】

【振興局】
堤防天端の保護箇所を検討した結果、
必要とする箇所はなかった。
今後、必要に応じて見直しを行っていく。

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

①ハード対策
■避難情報等伝達機器の整備

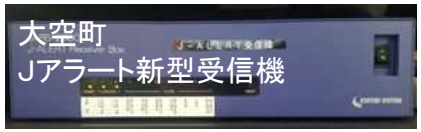
課題対応：D

①要配慮者や観光客、集落分散地区の居住者にも確実に情報を伝えるため防災行政無線などの情報伝達機器の整備検討
【平成28年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】
②停電時や夜間において確実に避難情報を伝えるための情報伝達方法の検討
【平成29年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

①【平成28年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走市】
・Jアラート新型受信機整備
・コミュニティFMを活用した情報連携の調査、整備検討
（情報伝達手段の多重化）

【大空町】
・Jアラート新型受信機整備（平成30年度）
・情報伝達手段の多重化について「メール配信」「消防屋外スピーカー音声伝達」による運用
（消防屋外スピーカー音声伝達は平成25年度から、メール配信は平成26年度）



【津別町】
防災無線の改良のための調査

【美幌町】
・防災無線更新整備検討
・新規転入者への防災グッズ配布

②【平成29年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走市】
コミュニティFMを活用した「自動起動防災ラジオ」による情報伝達を検討

【大空町】
・停電時や夜間において確実に避難情報を伝えるための具体的な方法は「メール配信」のみのため、多様な情報伝達手段を検討
・業務継続のための対応として役場庁舎の非常用電源確保対策を実施（令和元年度）

【美幌町】
非常用電源の充実を図る必要性など、引き続き、情報伝達方法について調査研究を進めた

【津別町】
停電時や夜間における避難情報を伝えるための方法を検討

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

②ソフト対策
■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

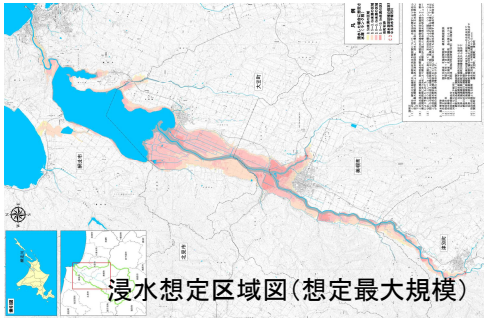
課題対応：　B，a，C

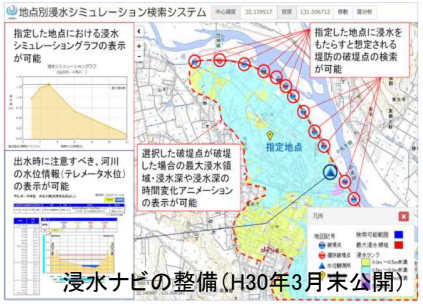
①想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図（浸水ナビ）の公表
【平成28年度から実施：網走開建】【平成29年度から実施：振興局】

②想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づき、浸水深や長期浸水時間を考慮した避難場所や避難経路の見直し、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップの整備検討
【平成28年度から実施：網走開建,網走市,大空町,美幌町,津別町】【平成29年度から実施：気象台,振興局】

①【平成28年度から実施：網走開建】【平成29年度から実施：振興局】

【網走開建】
平成28年11月30日　告示公表済み


浸水想定区域図（想定最大規模）



浸水ナビの整備（H30年3月末公開）

■網走開発建設部　浸水想定区域図より
網走開発建設部ホームページ
http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/

【振興局】
簡易的な手法による浸水区域図の作成
北海道管理河川

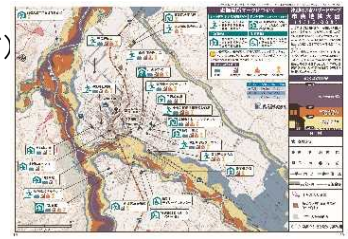
②【平成28年度から実施：網走開建,網走市,大空町,美幌町,津別町】【平成29年度から実施：気象台,振興局】

【網走市】
既存情報ガイドブックの転入者等への追加配布

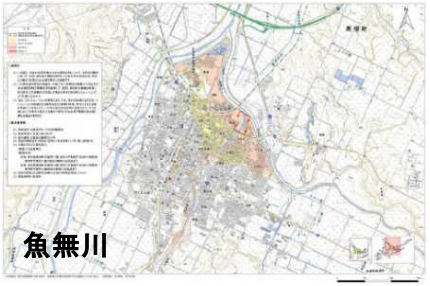
【大空町】
・「せいかつあんしんガイドブック」を全戸配布（毎年度実施）
・大空町「防災マップ」作成、全戸配布（平成30年3月）

【気象台】
必要に応じて支援など行った

【津別町】
民家に接する国直轄、北海道管理、津別町管理の河川に係るハザードマップを作成
（平成31年度町内全戸配布）



【振興局】
浸水想定区域図データの提供



【網走開建】
市町のハザードマップ作成のための支援を実施（津別町）

【美幌町】
防災WEBマップの作成

H30年9月公開

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

②ソフト対策
■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

課題対応：　B，a，C

③土地勘のない観光施設利用者が確実に避難場所までたどり着けるための避難誘導手法の検討
【平成29年度から実施：網走市,大空町】
④円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築
【平成28年度から実施：網走開建,振興局, 網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
【平成29年度から実施：自衛隊,北海道警察】

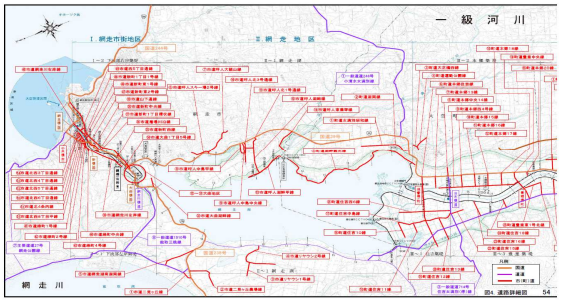
③【平成29年度から実施：網走市,大空町】

【網走市】
住民や観光客がスマートフォン等を活用し避難情報の取得等ができるよう、道の駅駐車場等にWi-Fi環境を整備

【大空町】
避難誘導手法の検討（H30「大空町防災マップ」を作成）

④【平成28年度から実施：網走開建,振興局, 網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
【平成29年度から実施：自衛隊,北海道警察】

【網走開建】
関係機関と協力し、防災ハンドブックの更新



【網走市】
網走開発建設部が行う資料整理に協力、情報共有を図った

【大空町,美幌町】
資料整理への協力と情報共有を図った

【振興局】
必要に応じて見直し

【津別町】
ハザードマップに網羅・明示により、情報の共有化を図った

【自衛隊,北海道警察】
共有を図った

【網走消防組合】
適切な避難場所の確保と避難勧告等の発令、河川情報等の的確な提供を行った

【美幌津別広域組合】
美幌町配布の「防災ガイドブック」等を活用し、情報共有を図った

課題対応：D

②ソフト対策

■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

①住民や観光客の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築
【平成30年度までに実施：網走開建】

①【平成30年度までに実施：網走開建】

H29年5月からプッシュ型情報配信を2水系5市町に実施し、
H30年5月に4水系10市町に拡大

※プレスリリース抜粋

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成３０年５月１日から、配信対象エリアを４水系１０市町村に拡大します～

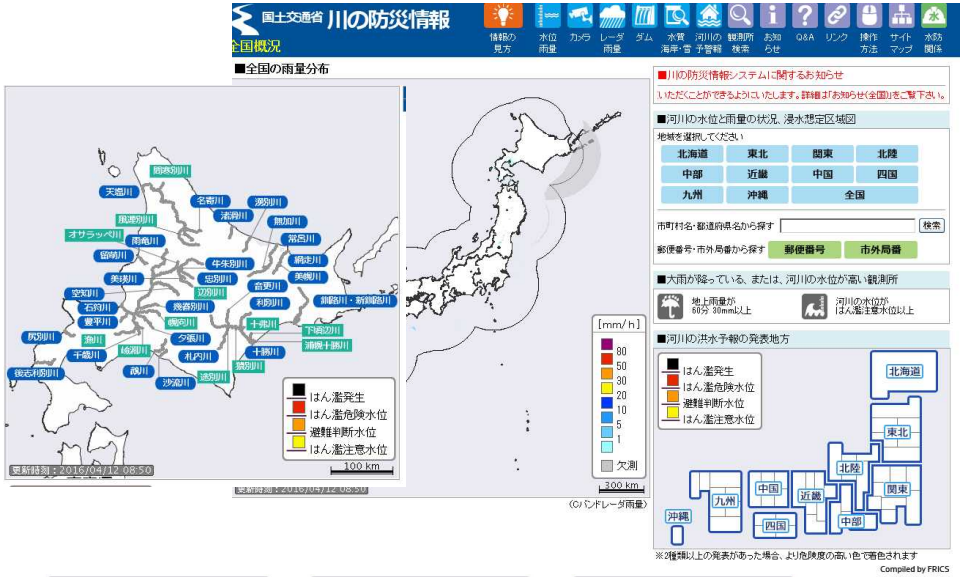
国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成２８年９月から緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。
北海道開発局網走開発建設部では、昨年５月１日から２水系の沿川５市町村において実施しておりますが、このたび、平成３０年５月１日から配信対象エリアを拡大し、２水系５市町村において配信することとしましたので、お知らせいたします。

※ 洪水情報とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル4）及び氾濫発生情報（レベル5）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。
携帯電話事業者ごとの基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。

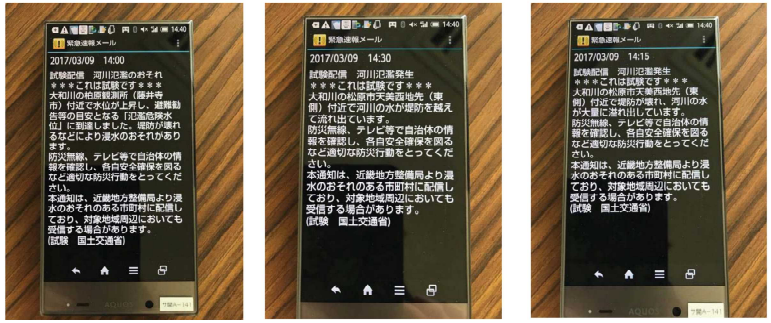
H29年5月常呂川水系（北見市、訓子府町、置戸町）
　　湧別川水系（湧別町、遠軽町） 2水系5市町に実施
H30年5月網走川水系（網走市、大空町、美幌町、津別町）
　　渚滑川水系（紋別市） 4水系10市町に拡大



①河川氾濫のおそれ

②－ｉ　河川氾濫発生
（河川の水が堤防を越えて流れ出ている時）

②－ii　河川氾濫発生
（堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時）



課題対応：D，E

②ソフト対策

■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

②メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク（自主防災組織等）の構築
【引き続き実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

③わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」・「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善
【平成28年度：網走開建】【平成29年度までに実施：気象台】

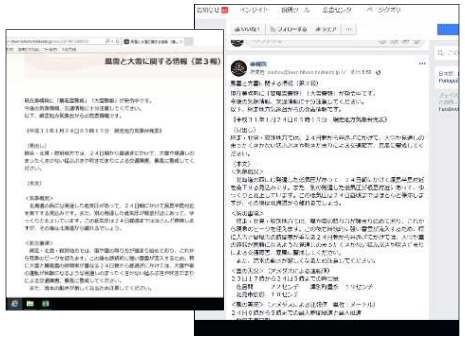
②【引き続き実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走市】
- 自主防災組織の結成促進
- メール配信サービスの利用促進
- 地域防災訓練や防災研修会等の実施による避難所運営体制の構築
- コミュニティFMを活用した情報連携の調査、整備検討（情報伝達手段の多重化）

【大空町】
- 自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進を図った
- 防災リーダー育成支援のための方策検討（自主防災組織活動補助金交付要綱の見直し検討　等）

【美幌町】
防災リーダー養成研修会の開催やメール配信サービスによる情報配信

ホームページ、Facebookにより情報配信



【津別町】
自主防災組織の結成促進を図った

③【平成28年度：網走開建】【平成29年度までに実施：気象台】

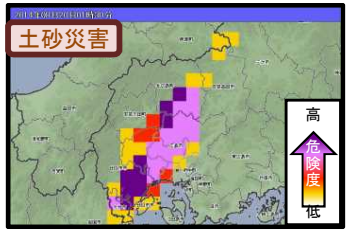
【網走開建】
洪水予報伝文の改良済み

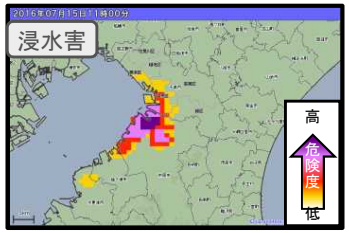
【網走地方気象台】
- 平成29年5月17日提供開始
  - ○気象警報・注意報「危険度を色分けした時系列」
  - ○5日先までの「警報級の可能性」
- 平成29年7月4日提供開始
  - ○メッシュ情報の充実
    従来の「土砂災害」に加え「浸水害」と「洪水害」の危険度分布

平成ｘｘ年ｘｘ月ｘ日 ｘｘ時ｘｘ分 ｘｘ地方気象台発表
ｘｘ市
【発表】暴風，波浪警報　大雨，雷，濃霧注意報
【継続】高潮注意報

××市			今後の推移（■警報級 ■注意報級）								
発表中の警報・注意報等の種別			7日	8日							
			21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
大雨	1時間最大雨量（ミリ）		10	10	30	30	50	50	50	30	
	（浸水害）										
暴風	風向風速（矢印・メートル）	陸上	15	18	20	22	22	25	18	15	15
		海上	20	22	25	28	28	30	22	20	20
波浪	波高（メートル）		5	5	8	8	8	9	8	7	7
高潮	潮位（メートル）		0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2

北海道北見地方	警報級の可能性							
種別	29日		30日		31日	1日	2日	3日
	夕方まで	夜～明け方		朝～夜遅く				
	12-18	18-6		6-24				
大雨	－	－	－	[高]	[高]	[中]	－	－
大雪	－	－	－	－	－	－	－	－
暴風（暴風雪）	－	－	－	[高]	[高]	[中]	[中]	－





課題対応：F，G

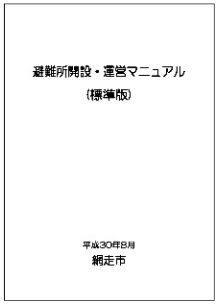
②ソフト対策

■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

④避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての市町職員向けマニュアルの作成や想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づく地域防災計画の見直し
【平成28年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

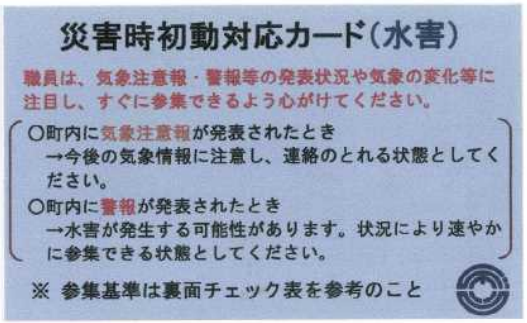
④【平成28年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走市】
避難所運営マニュアルの策定



【大空町】
・避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成検討（継続）
・地域防災計画の見直し

【美幌町】
・地域防災計画の見直し
・災害時初動対応カードを新規採用職員に配布



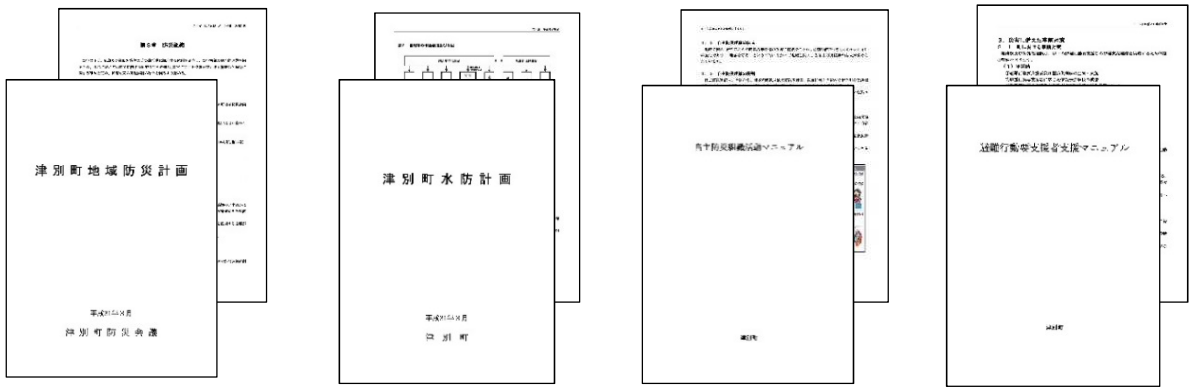
○美幌町職員参集基準チェック表

※災害の規模・ケースにより配備体制の変更を行う場合がある。

非常配備	危険レベル	気象情報	河川参考水位（概）			配備体制
第1	2	大雨注意報	網走川	9.80	氾濫注意水位	■主幹以上の全職員（雨量・河水想定注意以上） ■班長が必要と認める職員
			美幌川	9.70		
第2	3	暴風警報	網走川	12.00	避難判断水位	■主査以上の全職員 ■班長が必要と認める職員
			美幌川	11.90		
	4	大雨警報	網走川	12.30	氾濫危険水位	■主査以上の全職員 ■班長が必要と認める職員
			美幌川	11.40		
第3	5	大雨等特別警報	網走川	12.55	氾濫発生	■全職員
			美幌川	12.03		

※勤務時間外など、参集の判断が付かない場合は、まずは自身・家族の安全を確保し、参集すること。
※次のHPから水位・雨量の情報が参照可能。（「川の防災情報」と検索！）
市町村向け「川の防災情報」　http://city.river.go.jp

【津別町】
地域防災計画及び水防計画を見直し、計画に基づくマニュアルを作成した



課題対応：F，G

②ソフト対策

■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

⑤訓練や実運用結果を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの改良や多機関が連携したタイムラインの作成（要配慮者や観光客、災害状況に応じた対応を考慮）

【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

⑥洪水時の各機関の情報伝達状況や水防活動状況を共有できる体制の構築

【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

⑤【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

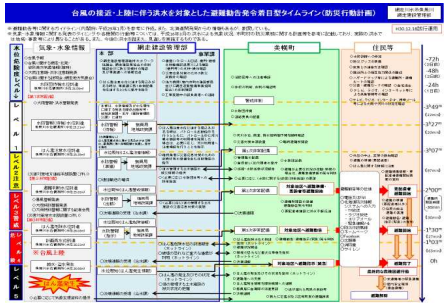
【網走開建】
各市町がタイムラインを作成する際の参考となるように、他河川で実施しているタイムライン検討会の傍聴を幅広に案内した

【網走市,大空町美幌町,津別町,網走消防組合】
他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴

第１回検討会(H30.12.27)

第２回検討会(H31.2.22)

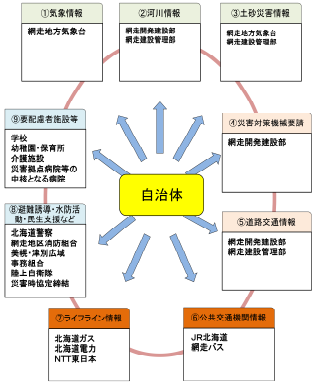
【振興局,】
意見交換を実施し、避難勧告着目型タイムラインの作成を行った



⑥【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

【網走開建】
水防連絡協議会を開催し、周知徹底を図った

【大空町】
減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図る



【気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
水防連絡協議会に参加し、情報共有を図った

②ソフト対策
■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

課題対応：H

①住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、網走川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する
【引き続き実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

①【引き続き実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

【網走市】
- 町内会役員等を対象に地域防災訓練（HUG研修会）を実施
- 小学校での「一日防災学校」の実施
  （北海道ほか防災関係機関との連携事業）
- 自主防災組織等が行う防災訓練・研修開催への協力

地域防災訓練（HUG研修会）を実施

「一日防災学校」の様子

【美幌町】
- 出前講座の開催
- 自主防災組織を対象とした図上訓練
- 職員による水害を想定した避難所開設訓練の実施
- 一日防災学校の実施

出前講座の開催

自主防災組織を対象とした図上訓練

町内小学校において
一日防災学校の実施

職員による水災害を想定した避難所開設訓練

②ソフト対策
■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

課題対応：H

①住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、網走川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する
【引き続き実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

①【引き続き実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

【網走開建,気象台,振興局,網走消防組合】
引き続き関係機関主催の訓練等に参画、
また、講習会や防災学習会に参画

【大空町】
・防災訓練（災害対策本部・情報伝達・住民避難・防災講演・炊き出し訓練など）を毎年9月実施
・HUGの実施（オホーツク総合振興局の協力による）
職員、住民（自治会）を対象とした避難所運営訓練
・出前講座の実施
防災に関する出前講座の実施（随時）

HUGの実施（平成30年8月（職員対象））

【津別町】
自治会や団体を対象とした出前講座を開催（3箇所）

【美幌津別広域組合】
・自治会防災訓練指導（出前講座）～13自治会
・美幌町防災リーダー養成研修会（再講習）を消防本部で開催
・一日防災学校（旭小学校）協力～救急講習、消防車両展示

大空町防災訓練（平成30年9月）

JAめまんべつ女性部通常総会
（出前講座、平成31年3月4日実施）

【自衛隊】
関係機関主催の訓練等に参加
また、講習会や防災学習等に参加

女満別湖畔災害対処訓練

【北海道警察】
警察職員の防災意識の醸成

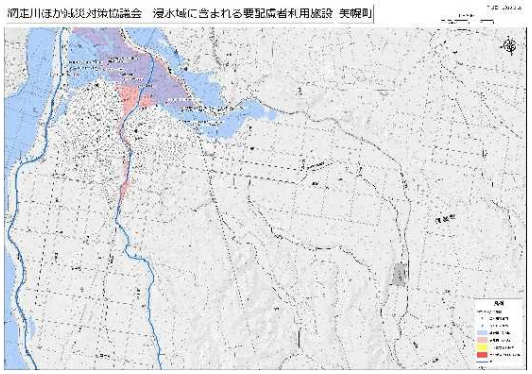
②ソフト対策
■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

課題対応：c，d

②要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成
【平成29年度から実施：振興局】
【平成30年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】
③要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施
【令和元年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

②【平成29年度から実施：振興局】
【平成30年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

【振興局】
要配慮者施設情報の基礎資料の提供



【網走市】
浸水想定区域内における要配慮者施設の把握

【大空町】
施設所管課、運営委託先と協議

【美幌町】
町福祉部局より作成を促した

【津別町】
水害（浸水）想定区域内に被害を受ける施設がない

③【令和元年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走市】
要配慮者施設の避難確保計画に基づく避難訓練を実施する場合には、必要に応じて支援を行う

【大空町】
施設所管課、運営委託先と協議
（避難確保計画作成、訓練実施方法検討）

【美幌町】
要請に基づき訓練の支援を行う

【津別町】
水害（浸水）想定区域内に被害を受ける施設がない

フォローアップ（H30年度）取組状況　～2）迅速かつ確実な水防活動のための取組～

①ハード対策
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応：Ⅰ，b

①国管理区間【令和2年度までに実施：網走開建】
- 河道掘削（本郷地区、美幌右岸地区）
- 浸透対策（美幌左岸地区）

②北海道管理区間【平成28年度から実施：振興局】
- 河道掘削（網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川）
- 浸透対策（女満別川）
- 適切な河道の維持管理（河道掘削、伐木等）

①【令和2年度までに実施：網走開建】

河道掘削

②【平成28年度から実施：振興局】

【振興局】
- 網走川上流、駒生川、サラカオーマキキン川で河道掘削を実施
- 女満別川で伐木を実施

河道掘削

河道の維持管理（伐木等）

①ハード対策
■監視体制の強化

課題対応：J

①網走川のほか中小河川など、上流部の河岸侵食危険箇所や湖周辺の観光地等、水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、CCTVカメラや水位計等の観測機器の調査検討・整備を行う
【平成28年度から実施：網走開建】【平成29年度から実施：振興局】

①【平成28年度から実施：網走開建】【平成29年度から実施：振興局】

【網走開建】
水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置

【振興局】
危機管理型水位計の設置

①ハード対策
■水防活動の資機材整備

課題対応：K

①資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や、資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備
【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
【平成29年度から実施：振興局】

①【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
【平成29年度から実施：振興局】

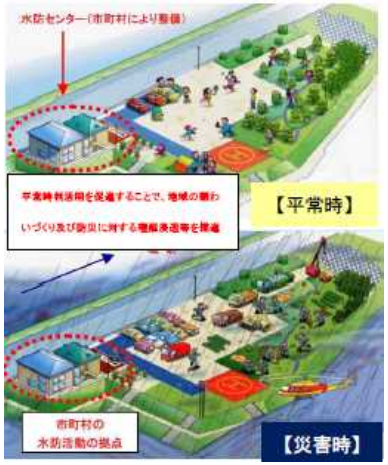
【美幌町】
・福祉避難機能確保のため、各種備蓄品を配備
・避難所に防災資機材倉庫を設置
・指定避難所に備蓄品を配備

福祉避難所機能確保のため、
各種備蓄品を配備（写真：受渡の様子）

避難所に防災資機材倉庫を設置

指定避難所に備蓄品を配備

【網走開建】
大空地区河川防災ステーションの事業着手



【網走市,大空町,津別町】
・防災備蓄品を計画的に整備（網走市）
・防災資機材整備、自主防災組織活動支援（大空町）
・計画的に防災用備品の充実を図った（津別町）

【振興局,自衛隊】
・防災備蓄品を計画的に整備（振興局）
・防災装備品を上級部隊に要望（自衛隊）

【網走消防組合】
計画的に施設及び資機材を備蓄・配置

【美幌津別広域組合】
・水害に備えて土のうを作成し、分団詰所に備蓄した
（津別町・津別消防署・津別消防団合同で実施）
・安全装備品の拡充(津別町)
（救命胴衣10着購入し、各分団に追加配備）

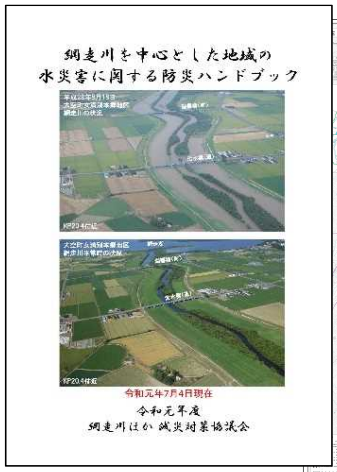
②ソフト対策
■水防活動に必要な情報の共有

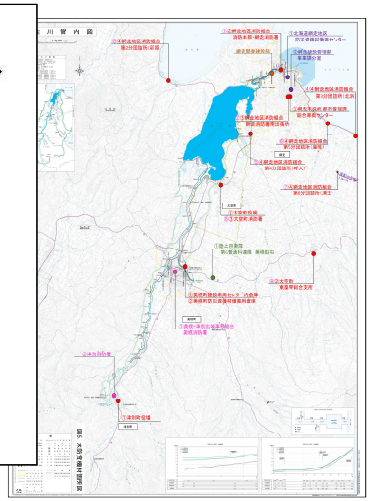
課題対応：　L，M，N

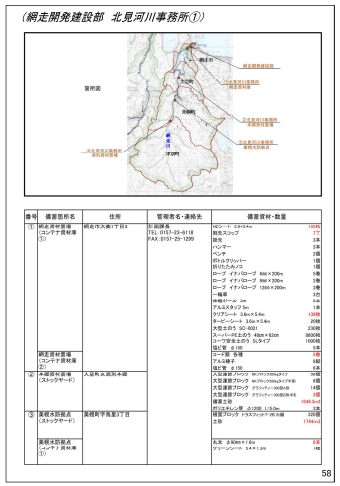
①迅速な水防活動のため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資機材の状態点検を行う
【平成28年度から実施：網走開建,振興局,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
②想定最大規模の洪水時でも利用可能な水防資機材搬送ルートの設定
【平成29年度から実施：網走開建,振興局,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

①【平成28年度から実施：網走開建,振興局,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

【網走開建】
関係機関と協力し、防災ハンドブックの更新







【網走市】
・網走開発建設部が行う保有状況整理に協力した
・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用して情報等の共有を図った

【振興局,自衛隊,大空町、美幌町、津別町、網走消防組合】
資料整理への協力と共有を図った

【美幌津別広域組合】
・減災対策協議会作成の防災ハンドブックを活用し情報共有を図った
・水防資機材の点検を定期的に実施

②【平成29年度から実施：網走開建,振興局,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

【網走開建】
想定最大規模や計画規模における資機材搬入ルート等の検討

【振興局,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
想定最大規模や計画規模の洪水時における資機材搬入ルート等の検討、設定協議に参加

②ソフト対策
■水防活動に必要な情報の共有

課題対応：　L，M，N

③毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する
【引き続き実施：網走開建,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
【平成29年度から実施：振興局,自衛隊】

③【引き続き実施：網走開建,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
【平成29年度から実施：振興局,自衛隊】

網走市(H30.7.3)

大空町(H30.8.1)

美幌町(H30.8.1)

津別町(H30.8.2)

【網走開建,網走市,大空町,美幌町,津別町,
網走消防組合,美幌津別広域組合】
関係機関と共同点検を実施

【振興局】
重要水防区間の見直し

【自衛隊】
共有を図った

②ソフト対策
■水防活動体制の強化

課題対応：　N，O

①関係機関が連携し、河岸侵食や漏水を想定した水防実働訓練、情報伝達訓練の実施
【引き続き実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市, 大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】
②リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行うとともに、水防協力団体の募集・指定を促進する
【平成28年度から実施：網走開建,振興局, 網走消防組合,美幌津別広域組合】
【平成29年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

①【引き続き実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,網走市, 大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

【網走開建、網走消防組合、美幌津別広域組合】
関係機関が連携した水防訓練を実施、又関係機関主催の訓練に参画

【気象台】
水防実働訓練に参加する機会がなかった

【振興局,自衛隊,北海道警察】
関係機関主催の訓練等に参加

【網走市、美幌町、津別町】
近隣町や関係機関との連携による水防訓練の実施について、調整を行った

【大空町】
大空町防災訓練を今後も引き続き実施

②【平成28年度から実施：網走開建,振興局,網走消防組合,美幌津別広域組合】【平成29年度から実施：網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走開建】
リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行った

【網走市,大空町,美幌町,津別町】
関係機関と連携し促進を図った

【網走消防組合】
引き続き募集活動を実施

【美幌津別広域組合】
・引き続き募集活動を実施
・組合HP掲載、構成町の広報誌掲載、ポスター 掲示、リーフレットを配布し加入促進を図った

【振興局】
ポスター掲示やリーフレット配布を通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行った

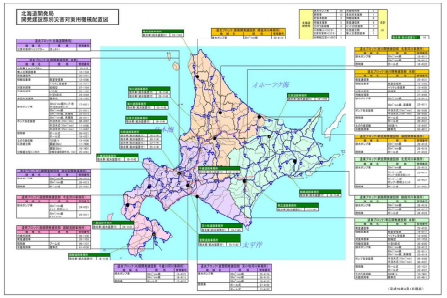
①ハード対策
■排水活動の資機材整備

課題対応：P

①排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討
【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

①【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,網走市,大空町,美幌町,津別町,網走消防組合,美幌津別広域組合】

【網走開建】
関係機関と協力し、防災ハンドブックの更新



排水活動に必要な
資機材の整備検討

【大空町】
・防災ハンドブックを活用して、情報共有を図った
・内水被害対策として排水ポンプ、電源設備整備
（平成29年度整備　可搬エンジンポンプ2（4インチ）、水中ポンプ1（4インチ））

【網走市】
内水被害常襲地区への排水ポンプ及び電源の整備検討

【美幌町】
・ポンプ（6台）、発電機（8台）の整備
・旧瑞治樋門に常設電源の設置

【津別町,網走消防組合】
資機材整備の検討

【自衛隊】
共有を図った

【美幌津別広域組合】
資機材の整備なし

①ハード対策
■排水活動の資機材整備

課題対応：P

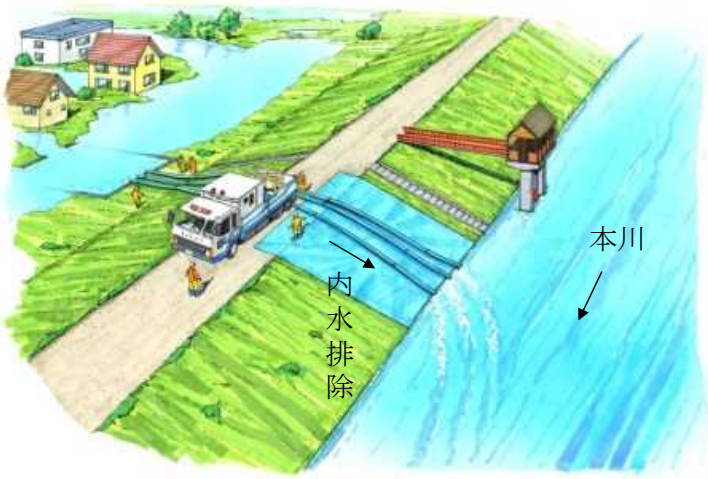
②排水活動を行うスペースの整備検討
【平成28年度から実施：網走開建,振興局】

②【平成28年度から実施：網走開建,振興局】

【網走開建】
排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討

【振興局】
内水氾濫実績の整理

排水活動を行うスペースの整備検討



内水排水のイメージ図

ポンプ車による内水排除の状況

釜場の整備検討

②ソフト対策
■排水活動の体制強化

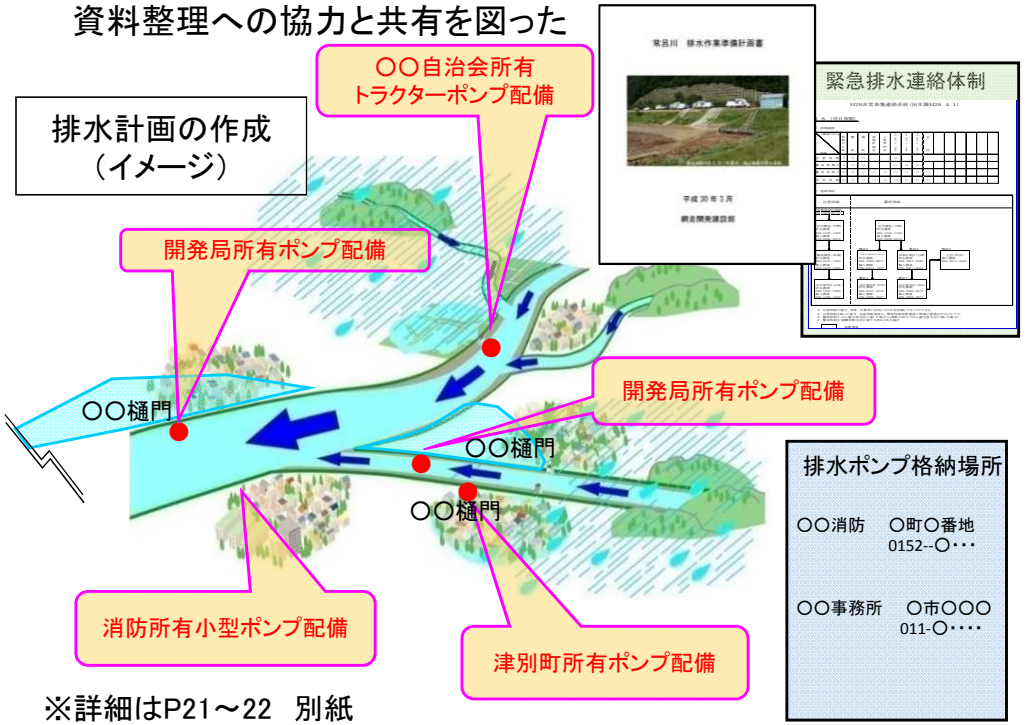
課題対応：Q，R

①各機関での排水資機材整備状況の情報共有、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定、排水機場の操作要領見直し検討を行い、流域全体での排水計画の作成
【平成29年度から実施：網走開建,振興局,網走市,大空町,美幌町,津別町】
②排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施
【引き続き実施：網走開建,網走消防組合,美幌津別広域組合】【平成29年度から実施：振興局,網走市,大空町,美幌町,津別町】

①【平成29年度から実施：網走開建,振興局,網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走開建】
排水計画策定のための検討を実施

【振興局,網走市,大空町,美幌町,津別町】
資料整理への協力と共有を図った



※詳細はP21～22　別紙

②【引き続き実施：網走開建,網走消防組合,美幌津別広域組合】【平成29年度から実施：振興局,網走市,大空町,美幌町,津別町】

【網走開建】
引き続き計画的に継続実施及び幅広に関係機関への声かけを実施

ポンプ車排水訓練

ポンプ照明車配置訓練

照明車操作訓練

【振興局】
日程の調整がつかなかったため、
他河川の災害対策用機械操作訓練に参加

ポンプ車排水訓練（写真：他河川）
災害対策用機械操作訓練に参加（H30.06.27）

【網走市、大空町、美幌町、津別町】
ポンプ排水訓練に参加

【網走消防組合】
所有機材の点検、取扱い訓練を実施するとともに、関係機関主催訓練に参加した

【美幌津別広域組合】
所有機材の点検、取扱い訓練を実施

②ソフト対策
■排水作業準備計画書の作成

課題対応：Q

①想定し得る最大規模の降雨により、網走川流域で想定される浸水区域、水深、浸水継続時間等を算出し、効率的、効果的な排水作業準備計画を立案する。H30年度は、網走市、大空町、美幌町の市街地が位置するブロック(R01,R05,R06)、浸水継続時間が2週間にも及ぶブロック(L06)を対象に検討
【平成30年度から実施：網走開建】

排水作業準備計画の策定フロー

・大規模氾濫減災協議会の取組方針に基づき、令和2年度までに、長期にわたり浸水が継続する。地域などにおいて、排水作業準備計画を作成する。
・排水作業準備計画は、協議会等の場を通じて関係者間で共有する。

1. 資料収集・整理
↓
2. 氾濫特性等の把握
↓
3. 排水ポンプ車等の配置検討
4. 関係機関との連絡体制・協定等の検討

災害対策機械の概要（排水ポンプ車）

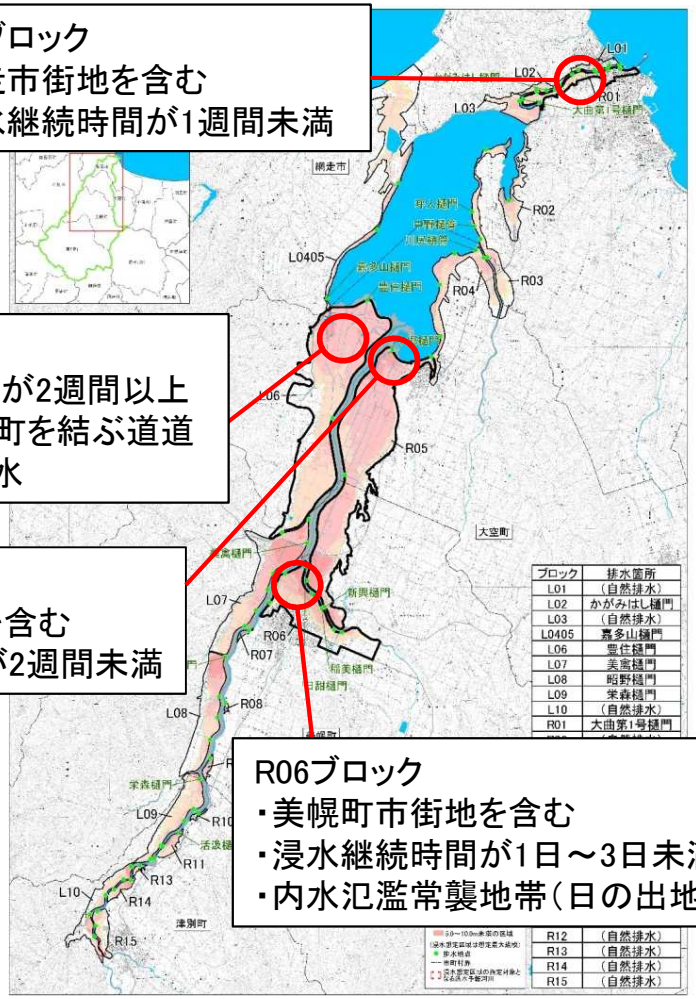
想定される最大規模の氾濫区域と被害額

R01ブロック
・網走市街地を含む
・浸水継続時間が1週間未満

L06ブロック
・浸水継続時間が2週間以上
・網走市と美幌町を結ぶ道道248号線が浸水

R05ブロック
・大空町市街地を含む
・浸水継続時間が2週間未満

R06ブロック
・美幌町市街地を含む
・浸水継続時間が1日～3日未満
・内水氾濫常襲地帯（日の出地区）

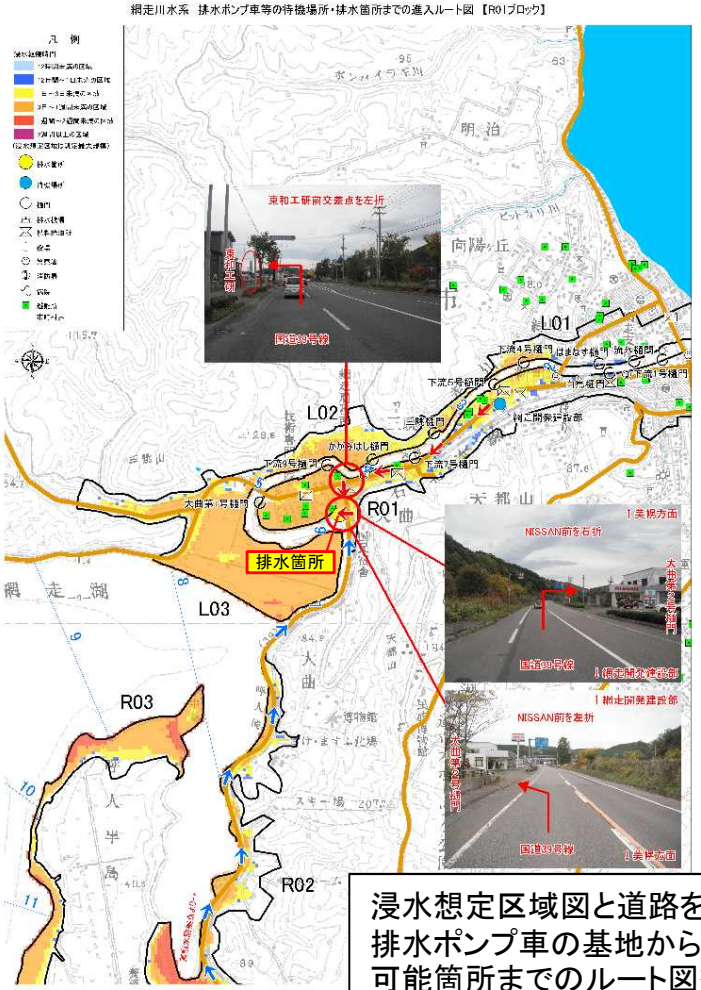


②ソフト対策
■排水作業準備計画書の作成

課題対応：Q

・排水ポンプ車の規格や氾濫水の集水ルート・場所などを踏まえた、排水可能箇所を検討
・排水可能箇所での排水ポンプ車の配置、排水ポンプ車の基地からのルート図などを作成
【平成30年度から実施：網走開建】

排水可能箇所までのルート図



浸水想定区域図と道路を重ね、排水ポンプ車の基地から、排水可能箇所までのルート図を作成

排水可能箇所における排水ポンプ車の配置計画

排水ポンプ車の配置可能スペース、ポンプ設置箇所樋門、（釜場等）の確認

資料2-3

網走川ほか 減災に係る取組方針に基づく これまでの取組状況について

【網走開建、振興局】北海道における災害時等の相互協力に関する細目協定の締結

◆網走開建とオホーツク総合振興局において、災害時の相互協力に関する連携強化のため、細目協定を締結しました。
◆災害が発生し、又はおそれのある場合の北海道開発局、北海道及び札幌市の相互協力を円滑に行うことを目的として平成28年12月に北海道開発局、北海道及び札幌市により「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」が締結されたことを期に、より一層の連携強化を図るため、各部局間において細目協定が締結されました。

相互協力に関する細目協定の締結について

・網走開発建設部及び振興局は、網走管内における細目協定を平成29年３月７日に締結しました。

協定 調印の様子　平成29年3月7日

北海道開発局、北海道、札幌市の
協定調印の様子　平成28年12月9日
（北海道開発局HPより）

【相互協力に関する細目協定の目的と内容】
◆目的：各機関の相互協力、連携強化により、災害発生又はおそれのある場合に、被害の拡大防止及び二次災害防止並びに被害施設の早期復旧等に資することを目的としています。

◆協定の内容
被害状況の把握、応急復旧等の実施に係わる建設資機材の貸与や職員の派遣に関する協力を行うとともに、平常時から緊急時の連絡体制及び保有する建設資機材に関する情報交換、災害時の要請が輻輳した場合の調整

◆細目協定締結について
災害対応時の具体の必要事項（管轄区域や協力要請の手続き等）を定めました。

※「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」
平成28年12月9日、北海道開発局、北海道及び札幌市により締結された協定を主軸に、全道の開発建設部及び振興局において、具体の細目協定を締結し、より一層の連携強化を図っています。

◆関係機関では、各機関が連携して大規模な氾濫の発生に備え、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。（参考）網走開建HP：http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr00000000cf.html

【網走開建、気象台、振興局】要配慮者利用施設への説明会について

◆ 昨年の一連の台風などの豪雨災害を踏まえ、国土交通省、厚生労働省及び各自治体が連携し、要配慮者利用施設管理者に向けた河川情報等への理解を深めていただくための説明会が全国で開催され、このたび、**網走管内においても開催されました。**

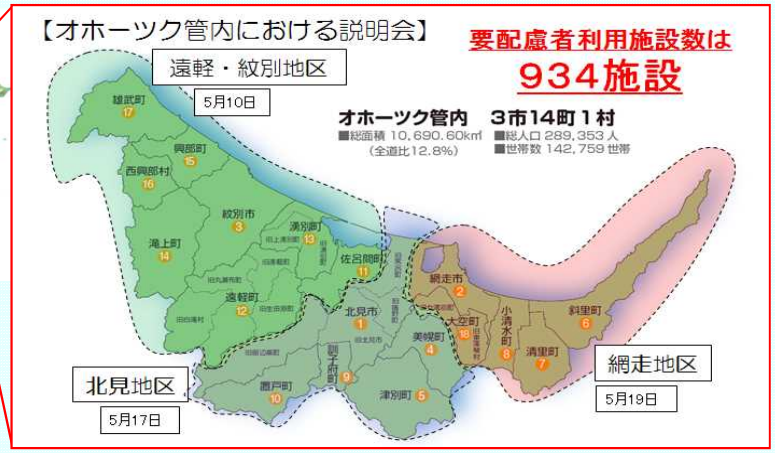
◆**要配慮者など災害弱者の避難を、地域社会全体で連携支援し、確実な避難の実現のため、**洪水や土砂災害リスクの高い区域に存する**要配慮者利用施設については、避難確保計画作成及び避難訓練の実施が義務化**されています。

要配慮者利用施設への説明会開催状況

・網走管内における説明会を、
網走地区、北見地区、遠軽・紋別地区の３地区で開催。

【開催状況】

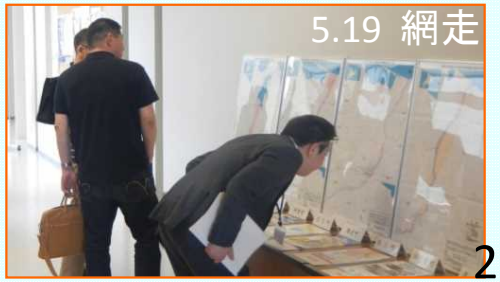
平成29年5月10日　遠軽・紋別地区
平成29年5月17日　北見地区
平成29年5月19日　網走地区



【説明会の開催背景】

◆平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等では、逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生
◆「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現するため、同様の被害を二度と繰り返さない『抜本的な対策』が急務

【以上の背景を踏まえ、国土交通省、厚生労働省、各自治体が連携して、施設管理者に対して水害・土砂災害時における適切な避難行動についての理解を深めていただくことを目的とした説明会を全国で開催】



【網走開建、気象台】要配慮者利用施設への説明会（個別説明）

■ 昨年の一連の台風などの豪雨災害を踏まえ、国土交通省、厚生労働省及び各自治体が連携し、要配慮者利用施設管理者に向けた河川情報等への理解を深めていただくための説明会が春先に全国で開催されたところである。その後、網走市内において、要配慮者利用施設個別説明会を実施した。

■要配慮者など災害弱者の避難を、地域社会全体で連携支援し、確実な避難の実現を目指す。

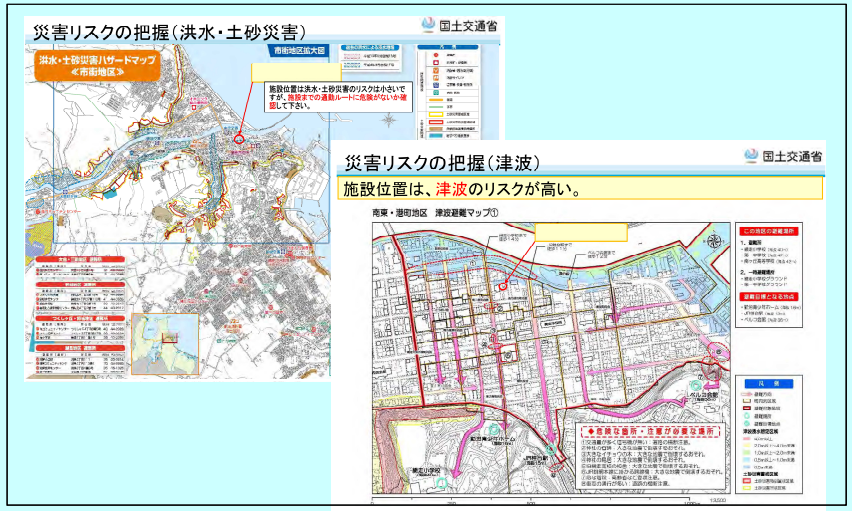
個別説明会の実施状況

【実施状況】

日　　時：　平成29年10月12日（木）17：30～
参　加　者：　網走市内要配慮者利用施設（６名）
説　明　者：　網走開発建設部
　　網走地方気象台
説 明 内 容 ：・災害リスクの把握と避難に必要な情報の入手方法について
　　・津波、防災について

【説明状況写真】

【説明資料】



【網走川】　個別地区を対象に、河川水位上昇を想定した避難訓練を実施

◆水防災意識再構築ビジョンの取組として、網走川ほか減災対策協議会が設置されたことを踏まえ、平成２８年度は美幌川の水位が上昇して、内水常襲地帯である美幌町美芳地区に避難指示が発令されたことを想定した訓練が実施されました。
◆美幌町では町内の自主防災組織（自治会）を４つにブロック分けし、地震などの各種大規模災害に備えた避難訓練や消防訓練が実施されていますが、個別地区を対象とした水防災に関する訓練を推進しております。
◆従前の訓練に参加していた町・消防・警察・自衛隊に加え、美芳地区での訓練より気象台・開発局も参加しました。
今後、協議会での取組の一環として、同様の取組を実施する地区を拡大していく予定です。

防災避難訓練の様子

バスによる避難訓練を実施

地域住民が避難訓練に参加

対策本部の様子

避難所の小学校の様子

洪水や治水事業のパネルを展示

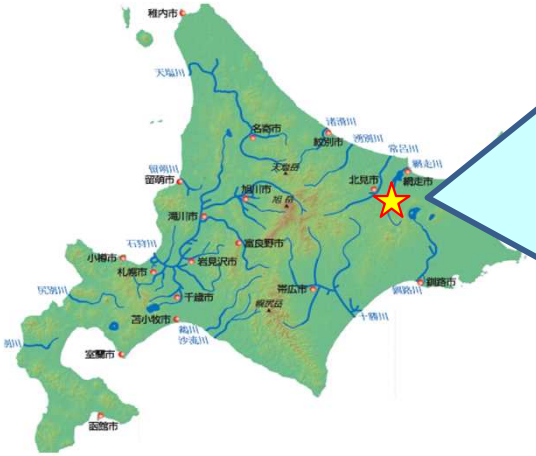
美幌町防災避難訓練の概要
◆実施日：平成28年8月20日（土）
◆場　所：美幌町東陽小学校
◆対　象：美芳地区住民（４６名）

【網走川】水防合同訓練を実施（大空町、自衛隊）(ソフト対策、水防活動)

◆ 網走川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」に基づいたソフト対策における取組となる、水防活動体制の強化の一環として水防実動訓練、情報伝達訓練を実施

◆ 次年度以降も、関係機関が連携し継続的な実施を予定。

水防合同訓練の様子


稚内市
名寄市
紋別市
北見市
網走市
留萌市
旭川市
湧別川
網走川
湧別川
常呂川
天塩川
湧別川
湧別川
湧別

【網走川】自主防災組織の活動を後押し(大空町、美幌町)(ソフト対策、避難・水防)

◆ 網走川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」に基づいたソフト対策における取組となる、水防活動体制の一翼を担う自主防災組織活動について自主防災組織活動補助金交付要綱を制定及び告示し、設置促進と育成強化を図っています。

大空町自主防災組織活動補助金交付要綱抜粋（大空町ＨＰより）

大空町自主防災組織活動補助金交付要綱

平成28年3月28日　告示第16号
(平成28年4月1日施行)

条項目次　沿革

体系情報
第3編　執行機関/第1章　町長/第7節　災害対策

沿革情報
◆ 平成28年3月28日 告示第16号

○大空町自主防災組織活動補助金交付要綱

平成28年3月28日
告示第16号

（目的）
第1条　この告示は、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第5条第2項の規定及び大空町地域防災計画に基づき、自主防災組織が防災活動を行う上で必要な防災資機材の整備等に要する経費に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、町内の自主防災組織の設置促進と育成強化を図ることを目的とする。
（定義）
第2条　自主防災組織とは、自治会等を単位として、自主的に当該地域の防災対策を確立するために、次の各号に掲げる活動を行う団体をいう。
(1)　防災知識の普及
(2)　地域内の防災環境の確認
(3)　防災資機材の整備
(4)　防災訓練の実施
(5)　災害発生時における情報の収集、伝達、救出活動、初期消火活動、避難誘導、避難所での給食・給水活動に係る協力等
(6)　その他自主防災組織の目的を達成するために必要な事項

美幌町自主防災資機材等補助金交付要綱抜粋（美幌町ＨＰより）

○美幌町自主防災資機材等購入補助金交付要綱

印刷表示

見出し表示　比較・分類・検索

○美幌町自主防災資機材等購入補助金交付要綱
平成28年4月1日制定

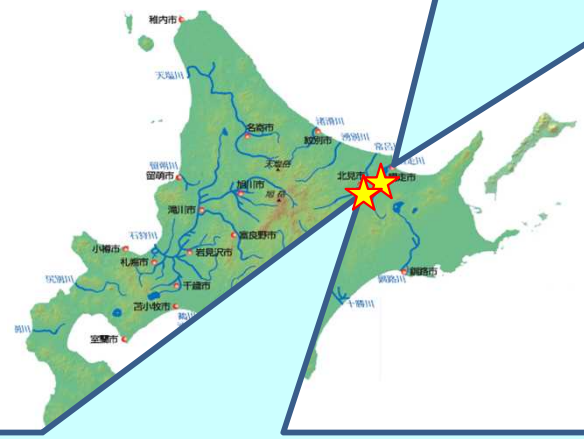
第1条　通則
第2条　目的
第3条　定義
第4条　補助の対象事業
第5条　補助の対象経費及び補助金の額
第6条　事業計画書の提出
第7条　補助金の交付の申請
第8条　補助金の交付の決定
第9条　補助金の交付の条件
第10条　補助金の交付
第11条　実績報告等
第12条　補助金の額の確定等
第13条　補則
附則
附則(平成23年1月29日一部改正)
附則(平成29年2月8日一部改正)
別表

○美幌町自主防災資機材等購入補助金交付要綱

（平成28年4月1日制定）
改正　平成28年1月29日一部改正　平成29年2月8日一部改正

（通則）
第1条　美幌町自主防災資機材等購入補助金は、予算の範囲内で交付するものとし、美幌町補助金等交付規則（平成15年美幌町規則第39号。以下「規則」という。）に定めがあるものほか、この要綱に定めるところによる。
［美幌町補助金等交付規則（平成15年美幌町規則第39号。以下「規則」という。）］
（目的）
第2条　この要綱は、自主防災組織が防災活動を行う上で必要な防災資機材等の購入に係る補助をすることにより、美幌町自主防災活動推進要綱（平成15年美幌町要綱。以下「推進要綱」という。）に基づく自主防災組織の結成及び育成を推進するとともに、地域における防災意識の高揚を図ることを目的とする。
（定義）
第3条　この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号の定めるところによる。
(1)　自主防災組織　推進要綱第3条第3号に規定する組織
(2)　自主防災資機材等　別表に掲げるもの
［別表］
（補助の対象事業）
第4条　補助の対象となる事業（以下「補助事業」という。）は、既に自主防災組織を設立し、かつ、自主防災資機材等を整備していない自治会が、自主防災資機材等を購入する事業とする。
（補助の対象経費及び補助金の額）
第5条　補助の対象となる経費及び補助金の額は、別表のとおりとする。ただし、町長が特に認めるときは、この限りでない。
［別表］
（事業計画書の提出）
第6条　補助金の交付を受けようとする自治会は、自主防災資機材等を購入する年度の前年度の11月30日までに町長に事業計画書を提出しなければならない。
（補助金の交付の申請）
第7条　補助金の交付の申請をしようとする自治会は、規則第4条第1項に規定する補助金等交付申請書兼概算払申請書に、次に掲げる書類を添付して、町長に提出しなければならない。
［規則第4条第1項］
(1)　規則第4条第1項第1号及び第2号に規定する事業計画書及び収支予算書
［規則第4条第1項第1号］［第2号］
(2)　見積書の写し
（補助金の交付の決定）
第8条　町長は、前条の補助金の交付の申請があったときは、当該申請に係る書類等を審査し、補助金を交付すべきものと認めたときは、速やかに補助金の交付を決定し、規則第5条第1項に規定する補助金等交付決定通知書兼概算払決定通知書により自治会に通知するものとする。
［規則第5条第1項］
2　町長は、前項の場合において、適正な交付を行う必要があると認めるときは、補助金の交付の申請に係る事項につき修正を加えて補助金の交付を決定することができる。

・関係機関：大空町
・告示年月日：平成２８年３月２８日



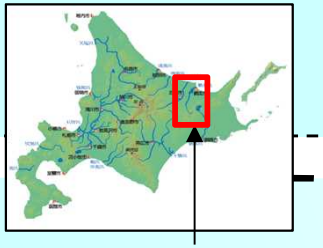
・関係機関：美幌町
・制定年月日：平成２６年４月１日
・改正年月日：平成２９年２月８日

自主防災組織が防災活動を行うために必要な資機材の整備等に要する経費について、補助金を交付して、自主防災組織の設置促進、育成強化、活動促進を行い、各地域の防災意識の高揚を図るものです。

【網走川】自主防災組織の結成や活動を促進しています（網走市、大空町、美幌町、津別町）

◆網走川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」における取組となる、**自助・共助のために必要となる住民の防災意識向上に資する、自主防災組織の結成を促進**しています。

◆自主防災組織の組織率の変化について、
網走市では、平成28年の人口カバー率にして、平成27年度比で10%以上増加しています。
津別町では、平成28年の人口カバー率にして、平成27年度比で13%以上増加しています。



網走川流域

取組概要

網走川流域の各市町村では、広報誌やＨＰなどの各種広報、出前講座や防災訓練などの際において、自主防災組織の必要性について広報し、結成の促進を図っています。

流域の取組紹介

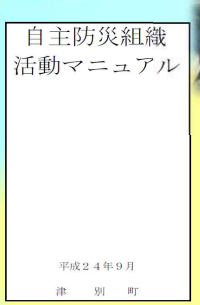
美幌町
自主防災組織を中心とした訓練の様子

津別町
出前講座開催風景

網走市
ＨＰへの資料掲載
（町内会ハンドブック）

大空町
広報誌への掲載

美幌町
自主防災資機材等購入補助金
交付要綱の一部改正



津別町
ＨＰへの資料掲載
（自主防災組織の活動マニュアル）

【網走川】ハザードマップの作成と公表（大空町、美幌町、津別町）

◆洪水ハザードマップの見直し、防災ガイドマップ作成による水害リスク情報の周知とともに、防災意識の啓発を継続的に実施していきます。

■想定最大規模の降雨による浸水想定区域図（直轄区間H28.11月公表）に基づき、大空町、美幌町及び津別町では、新たなハザードマップ（防災ガイドマップ等）を作成し、浸水範囲や緊急避難場所、避難所を設定し、地域住民に周知しています。

■今後、ガイドマップを活用した訓練等により、災害時の危険箇所や避難所の位置などを事前に把握するなど、リスク情報の周知とさらなる防災意識の向上を図っていきます。

【網走川】　大空地区河川防災ステーション伝達式を開催

◆国土交通省では、水防活動や災害時の緊急復旧を行う拠点となる「河川防災ステーション」の整備を、市町村と一体となり進めています。

　このたび、北海道開発局と大空町が国土交通本省に対して申請していた「大空地区河川防災ステーション」の整備計画が登録されたことから、大空町へ登録の伝達式を行いました。北海道内における河川防災ステーションの登録は、12箇所目となります。

◆「大空地区河川防災ステーション」では、平常時に水防センター内の多目的ホールを研修・交流施設として活用するほか、網走湖畔におけるイベント開催時には、河川防災ステーションの敷地を活用した地元特産品販売等の活用を地域と連携して検討していきます。

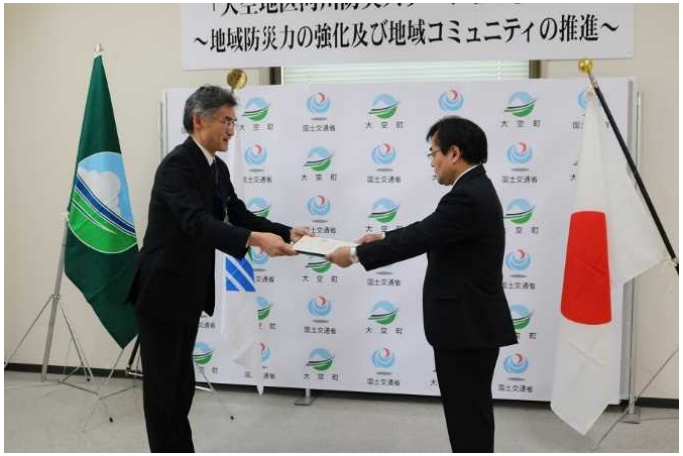
◆大空地区河川防災ステーションは、以下の整備を行う予定です。

・緊急復旧用資材（土砂、根固めブロック等）の備蓄、駐車場など

・水防センター（大空町）

■登録証伝達式

■日時：平成30年4月5日（木）14：00～14：30
■出席者：網走開発建設部長、大空町長
■会場：大空町役場1号会議室



鈴木網走開発建設部長（左）から山下大空町長へ登録証を伝達

登録証を手にする鈴木網走開発建設部長（左）と山下大空町長

鈴木網走開発建設部長

「この防災ステーションがオホーツク管内一体の地域防災力の向上、地域活力の増大に支援する施設になって欲しい。」

山下大空町長

「地域の安全を守り、平常時には地域住民が文化活動の拠点として利用できる施設として、網走開発建設部の皆さんと一緒に整備を進めていきたい。」